

平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シーズメン

コード番号 3083 URL <http://www.csmen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青木 雅夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 保住 光良

TEL 03-5623-3781

四半期報告書提出予定日 平成24年10月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	3,519	2.3	147	136.7	143	175.3	75	—
24年2月期第2四半期	3,439	△0.6	62	—	52	—	△105	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	9,596.93	—
24年2月期第2四半期	△13,398.46	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	3,646	2,171	59.5
24年2月期	3,745	2,116	56.5

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 2,171百万円 24年2月期 2,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	2,500.00	2,500.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	3,000.00	3,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,550	4.0	260	25.3	240	27.1	100	—	12,664.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	9,750 株	24年2月期	9,750 株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	1,854 株	24年2月期	1,854 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	7,896 株	24年2月期2Q	7,896 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成24年3月1日～平成24年8月31日）における我が国経済は、震災復興関連等の国内需要により景気は堅調さも見られましたが、一方で欧州債務問題に端を発した海外景気の減速など、景気の下押しリスクは払拭されず、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、所得環境や将来不安などに大きな改善は見られず、個人消費は節約志向が続き、加えて5月、6月の低気温や梅雨明けの遅れ、8月の記録的残暑などの天候不順、夏季セールの一部後倒しによる分散化の影響もあり、経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、販売面におきましては、「METHOD既存店の更なる強化」と「流儀压榨事業の拡大と収益力の改善」を方針として、業績の向上に努めてまいりました。

「METHOD」につきましては、「客層毎の品揃えの強化」、「接客サービス力の向上」および「プロパー販売の強化」をテーマとしてまいりました。学生層、大人層、ファミリー層などそれぞれの客層をターゲットとした品揃えの充実を図るとともに、接客サービスにおきましては、スタッフ一人一人に基本的な挨拶を徹底、また、プロパー販売につきましては、設定した販売強化品目を売り切ることで販売力の強化に努めてまいりました。その結果、「METHOD」の当第2四半期累計期間の既存店売上高前年比については100.4%と前年は上回ったものの、低気温による盛夏物の立上りの遅れなど夏物が伸び悩んだこともあり微増にとどまりました。

「流儀压榨」につきましては、「売上拡大」と「利益体質の強化」をテーマとしてまいりました。3月に1店舗の出店を実施して新店舗による売上増を図るとともに、ブランド力および販売力の強化を推進するため、「和の文化とファッションを提案するショップ」としてのスタッフの意識強化と接客技術の向上に努めてまいりました。また、プライベートブランド育成に取り組み、独自性の高い商品、付加価値の高い商品など「流儀压榨」ならではの商品展開を実施し、利益体質の強化を図ってまいりました。その結果「流儀压榨」の当第2四半期累計期間の売上高前年比は112.5%と前年を上回りましたが、客数が伸び悩んだこともあり、既存店売上高前年比は98.1%となりました。また、「流儀压榨」の売上総利益率につきましては52.4%となり前年を2.1ポイントの改善を図ることができました。

以上の結果、全社の売上高前年比は102.3%、既存店売上高前年比は100.0%となりました。

商品面におきましては、「荒利率の改善」をテーマとして取り組んでまいりました。商品構成の見直しを図り、シャツ、雑貨などの商品群の品揃えを強化するとともに、適時適量な商品発注の徹底および価格設定の見直しを図り、在庫コントロールの精度向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上総利益率については50.7%と、前年を1.4ポイント上回りました。

店舗戦略につきましては、当第2四半期累計期間において「流儀压榨」1店舗を出店した結果、当第2四半期累計期間末の店舗数は「METHOD」40店舗、「流儀压榨」27店舗「METHOD COMFORT」2店舗、「AGIT POINT」1店舗の合計70店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は35億19百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は1億47百万円（前年同期比136.7%増）、経常利益は143百万円（前年同期比175.3%増）、四半期純利益は75百万円（前年同期比181百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①財政状態の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は22億83百万円となり、前事業年度末に比べ0百万円減少いたしました。これは主に売掛金の増加71百万円、現金及び預金の減少25百万円、商品の減少30百万円、繰延税金資産の減少49百万円等によるものであります。固定資産は13億63百万円となり、前事業年度末に比べ99百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産の減少57百万円、敷金及び保証金の減少33百万円等によるものであります。

この結果、総資産は36億46百万円となり、前事業年度末に比べ99百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は10億18百万円となり、前事業年度末に比べ33百万円減少いたしました。これは主に買掛金の増加42百万円、支払手形の減少73百万円等によるものであります。固定負債は4億56百万円となり、前事業年度末に比べ1億20百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少88百万円、資産除去債務の減少16百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は14億74百万円となり、前事業年度末に比べ1億53百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は21億71百万円となり、前事業年度末に比べ54百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加56百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、営業活動により1億32百万円増加、投資活動により29百万円減少、財務活動により1億27百万円減少し、11億27百万円となり、前事業年度末と比較して25百万円の減少となりました。

また、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は1億32百万円となりました。

これは主に税引前四半期純利益1億24百万円に加え、償却費等の合計77百万円による資金の増加、売上債権の増加による資金の減少71百万円等を差し引いたものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は29百万円となりました。

これは主に固定資産の取得による支出33百万円、敷金及び保証金の差入による支出8百万円、敷金及び保証金の回収による収入12百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は1億27百万円となりました。

これは主に借入金の返済による支出92百万円、配当金の支払による支出19百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の通期業績予想につきましては、平成24年9月28日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,152,774	1,127,604
売掛金	246,121	317,728
商品	756,075	725,953
繰延税金資産	90,732	40,901
その他	40,129	73,947
貸倒引当金	△2,508	△2,840
流動資産合計	2,283,324	2,283,293
固定資産		
有形固定資産		
建物	909,881	865,952
減価償却累計額	△577,592	△579,854
建物（純額）	332,288	286,097
工具、器具及び備品	170,229	170,954
減価償却累計額	△127,900	△133,351
工具、器具及び備品（純額）	42,329	37,602
建設仮勘定	6,712	—
有形固定資産合計	381,331	323,700
無形固定資産		
ソフトウェア	13,630	20,036
リース資産	86,760	72,300
その他	6,000	3,150
無形固定資産合計	106,390	95,486
投資その他の資産		
投資有価証券	43,290	41,400
長期貸付金	73,216	71,694
長期前払費用	17,090	13,200
繰延税金資産	47,516	56,449
敷金及び保証金	866,483	832,781
貸倒引当金	△73,216	△71,694
投資その他の資産合計	974,379	943,831
固定資産合計	1,462,101	1,363,018
資産合計	3,745,425	3,646,312

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	117,695	43,950
買掛金	171,896	214,388
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	184,892	181,152
リース債務	30,669	31,118
未払費用	167,263	174,219
未払法人税等	20,751	13,320
賞与引当金	50,300	52,500
役員賞与引当金	5,230	8,808
資産除去債務	—	2,493
その他	53,352	46,685
流動負債合計	1,052,052	1,018,636
固定負債		
長期借入金	324,894	236,188
役員退職慰労引当金	31,565	31,565
リース債務	56,154	40,482
資産除去債務	164,261	148,120
固定負債合計	576,875	456,356
負債合計	1,628,927	1,474,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	245,000	245,000
資本剰余金	415,193	415,193
利益剰余金	1,604,931	1,660,968
自己株式	△150,446	△150,446
株主資本合計	2,114,677	2,170,715
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,820	604
評価・換算差額等合計	1,820	604
純資産合計	2,116,498	2,171,319
負債純資産合計	3,745,425	3,646,312

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	3,439,900	3,519,917
売上原価	1,743,762	1,735,555
売上総利益	1,696,137	1,784,362
販売費及び一般管理費	1,633,759	1,636,736
営業利益	62,378	147,626
営業外収益		
受取利息	1,035	1,019
受取配当金	425	425
貸倒引当金戻入額	—	1,189
固定資産処分益	—	2,000
その他	501	577
営業外収益合計	1,962	5,211
営業外費用		
支払利息	12,051	9,273
その他	198	153
営業外費用合計	12,249	9,426
経常利益	52,091	143,411
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,161	—
特別利益合計	1,161	—
特別損失		
固定資産除却損	9,827	9,015
店舗閉鎖損失	598	—
減損損失	3,345	9,453
貸倒損失	15,897	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	109,117	—
その他	—	741
特別損失合計	138,785	19,211
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△85,533	124,200
法人税、住民税及び事業税	6,648	6,851
法人税等調整額	13,612	41,571
法人税等合計	20,261	48,422
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△105,794	75,777

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△85,533	124,200
減価償却費	48,575	45,426
無形固定資産償却費	17,067	18,369
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	109,117	—
長期前払費用償却額	4,708	4,089
減損損失	3,345	9,453
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,161	△1,189
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,530	2,200
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	3,578
受取利息及び受取配当金	△1,461	△1,445
固定資産処分損益 (△は益)	—	△2,000
支払利息	12,051	9,273
固定資産除却損	9,827	9,015
貸倒損失	15,897	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△98,956	△71,606
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△18,513	30,121
その他の資産の増減額 (△は増加)	△3,723	△2,572
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,470	△31,253
その他の負債の増減額 (△は減少)	17,681	6,695
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5,326	1,157
小計	37,307	153,513
利息及び配当金の受取額	1,461	1,445
利息の支払額	△12,011	△9,005
法人税等の支払額	△12,730	△13,747
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,026	132,205
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△84,456	△23,998
無形固定資産の取得による支出	△4,635	△9,265
敷金及び保証金の回収による収入	36,969	12,562
敷金及び保証金の差入による支出	△21,857	△8,852
長期前払費用の取得による支出	△2,169	△200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,148	△29,753
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2	—
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△169,020	△92,446
リース債務の返済による支出	△14,786	△15,222
配当金の支払額	△8,139	△19,953
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,944	△127,622
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△154,065	△25,170
現金及び現金同等物の期首残高	1,223,188	1,152,774
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,069,122	1,127,604

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年5月25日開催の定時株主総会決議に基づき、平成24年5月25日をもって下記のとおり、剰余金の処分を行いました。

(剰余金の処分に関する事項)

①減少する剰余金の項目及びその額

別途積立金 50,000,000円

②増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 50,000,000円